

令和7年度

「四無量心」 しむりょうしん

てんだいしゅう
天台宗

天台宗は、奈良の仏教界（南都仏教界）への反発から生まれています。

天台宗の開祖・最澄^{さいちょう}は、767年に近江国（滋賀県）に生まれ、19歳で奈良・東大寺の正式の僧（官僧）となりました。

しかし当時の奈良の仏教界は国家の保護を受けて、仏教本来の姿とはいえぬほど墮落していました。

それに強い反発を覚えた最澄は、一人故郷の近江の国の比叡山に登り、修行生活に入りました。そのころ「法華経」をもとにした天台宗の教義を知りました。

そんな修行一筋で仏教を求める最澄に接近したのが、桓武天皇^{かんむてんのう}です。奈良の仏教界に批判的であった桓武天皇は、最澄が新しい仏教を生み出してくれることを期待しました。

唐への留学を許可された最澄は、天台宗を興すというはっきりした目的をもって、804年、38歳のときに唐に渡りました。



天台山で教えを授かった最澄は翌年帰国し、806年に日本天台宗を開くことを認められ、比叡山^{ひえいざん}に延暦寺^{えんりやくじ}を建てます。

最澄の教えの特徴は「すべての人間が成仏できる」という一切皆成^{いっさいかいじょう}を説いていることです。

これは、一定の条件を満たした者しか成仏できない、とする南都仏教とは対立するものでした。

また、最澄の天台宗は「法華経」の信仰、戒律、禪、密教という4つを総合した教えである「四宗融合」です。

総合的で幅広い教えだった天台宗は、貴族層の支持を集めました。そして、ここからまた新しい宗派が派生していきました。

鎌倉時代、法然^{ほうねん}、親鸞^{しんらん}、道元^{どうげん}、日蓮^{にちれん}などはみな、いったんは比叡山に入って天台宗を学び、それを基に新しい宗派を築いています。その意味で、鎌倉仏教のベースとなったものが、最澄の天台宗だったと言えるそうです。

仏教には様々な宗派があります。改めて成り立ちなどを調べてみるととても勉強になります。霊園利用者皆様も宗派問わず利用していただいております。それぞれ関係する宗教や宗派などを、調べてみるのも良い機会かもしれません。

お知らせ

■ 営業日・時間

- 営業日：火曜日～日曜日（月曜日定休日）
但し、春彼岸、お盆、秋彼岸の期間中は休まず営業いたします。
- 営業時間：午前 10 時～午後 4 時

■ お参り用の花販売について

- 春彼岸期間中
- お盆期間中
- 秋彼岸期間中

■ お願い

- 8 月 13 日お盆のお参りについて
毎年、午前 10 時～午後 2 時までの間、非常に混雑し近隣での渋滞が発生します。
お参りの方は可能な限り日時をずらしていただきますようお願いいたします。
- お参りの際には、お供え物はお持ち帰り頂くようお願いいたします。
- ろうそくや線香の火は、火災の原因になる恐れがありますので消してからお帰りください。

■ 諸手続きについてのお願い

墓地使用者（契約者）や、連絡者の住所・電話番号などの記載事項に変更がありましたら、すみやかに霊園（023-625-2977）へご連絡をお願いいたします。

■ 墓地に埋葬する際の手続きについて

「埋葬許可証」を提出していただき、許可を得てから埋葬して頂くことになります。尚、前もって納骨予定日時が決定したら、事前に連絡をお願いいたします。

■ 骨箱、卒塔婆の処分について

- 骨箱のお焚き上げ料金は 2 千円をご負担願います。
- 卒塔婆のお焚き上げ料金は 1 千円をご負担願います。

■ 造花の散乱について

風害やカラスのいたずらにより散乱した造花は、当園にて回収させていただきます。

公益財団法人 山形霊園
〒990-2332 山形市飯田五丁目 25 番 7 号
電話・FAX 023-625-2977
<http://www.yamagatareien.or.jp>